

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-087
 補助事業名 平成25年度 健康や命を守る医療の活動 補助事業
 補助事業者名 公益財団法人日本精神衛生会

1 補助事業の概要

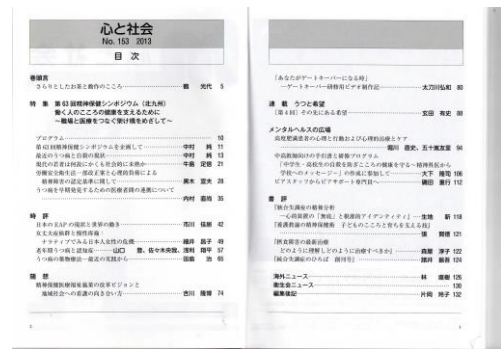
(1) 事業の目的

精神保健の啓発普及に資するため、広報誌の発行、フォーラムを開催し精神保健に対する国民の関心と理解を図り、もって公共の増進に寄与する。

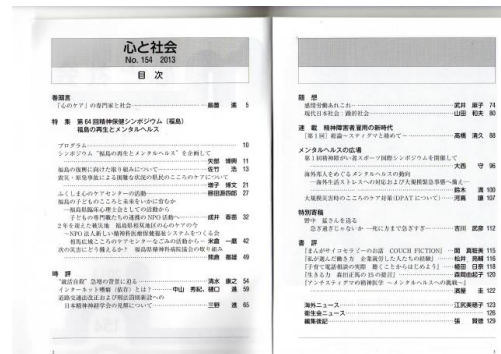
(2) 実施内容

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai153.pdf>)

精神保健に関する重要課題の現状分析と提言を内容とした広報誌「心と社会」153号と154号を各600部追加で発行し福祉関連施設などに無料で配布し精神保健思想の啓発普及を図った。



心と社会153号

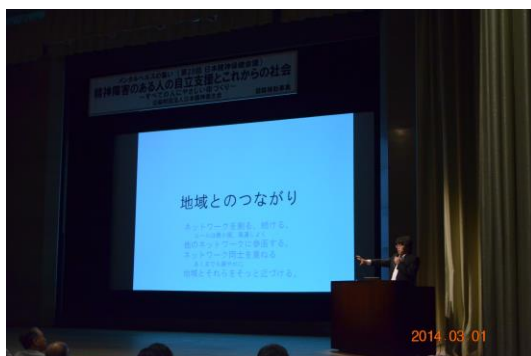


心と社会154号

(別紙5)

②精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html>)

平成26年3月1日に東京有楽町の朝日ホールで、フォーラム「精神障害のある人の自立支援とこれからの社会～すべての人にやさしい街づくり～」を無料で開催した。精神保健関係者、福祉関係者、当事者とその家族など296名が参加した。



特別後援



シンポジウム

2 予想される事業実施効果

①広報誌の発行

精神保健医療・福祉に関する幅広い情報を、全国の精神保健関係者や一般市民に広報することで、当事者を含めた国民のこころの健康の保持・改善や精神保健福祉制度の充実などが促進される効果が期待できる。153号で特集した「働く人の心の健康を支えるために」では、メンタルヘルスについて勤労者と企業がともに適切な対応ができるよう、医療と職場の連携が進むことが期待される。154号の特集「福島の再生とメンタルヘルス」では、放射能汚染による復興の遅れに対し、こころのケアを含めた様々な対策が進むこと、支援の輪が途切れることなく続くことが予想される。

②精神保健フォーラムの開催

精神保健に携わる多くの人の努力により、精神障害のある人やその家族への支援活動が拡大し制度も進歩してきたが、まだまだ十分とは言えない。今回のフォーラムでは当事者やその家族が最も強く求める、地域メンバーとして住民とともに暮らすことのできる社会の実現について、各地で実際に活動する専門家が討議した。精神科医療の変革に取り組み、病床数を削減して障害のある人が病院から地域に出て生活する取り組みの事例紹介など、障害のある人の社会的不利の支援という形態を超えて、障害のある人たちが地域メンバーとして活動する社会を実現する機運が高まる効果が予想される。

